

挿し木をしよう

園芸ソムリエ 山口まり

殆どどの植物は、気温 18~25℃が生育最適温度で、発根がよいとされています(熱帯植物はもう少し高温)。挿し木は、新枝が成長を止める梅雨ごろや気温が下がる秋口におこなわれます。適度な温度と湿度のある梅雨期が一般に挿し木の最適期です。

挿し木は、親株と同じ性質を持つものを、一度に多数殖やすことが出来ます。又、すでに成熟期にあるものを挿すので、実生より早く花が咲いたり、実を付けたりします。

挿し木は簡単にできる繁殖方法ですが、発根しにくいもの(クリや柿など)、挿すことにより親株と異なった形質になるもの(サンセベリアの斑抜けなど)があります。そのような種類は、接木や取り木・株分けで殖やします。

用意する用具: はさみ、よく切れるカッター、ピンセット、誘導用の割り箸、ラベル、発根促進剤(必要なら)

挿し木用土: 清潔で肥料分が無く、弱酸性~弱アルカリ性で、粒が小さく揃っているものが良い。赤玉土や鹿沼土、パーミキュライト、調整ピートモスなど。

挿し木床: 大き目の鉢、育苗トレイ、セルトレイ、ペットボトル

*挿し穂を作る

挿し木の成功は、親株の状態に負うところが大きい。若く元気が良く力を蓄えている枝を用い、長さや葉の量の調整、切り口の処理が重要。

- 1、良く日光に当たる場所に生育し、元気に生長している株の、太く元気に伸びている成熟した枝を採取する。
- 2、葉の付け根から新しい芽が伸びてくるので、挿し穂は、必ず節をつけて1~2節で切り分ける。
- 3、頂頭に近い節部分にはすでにつぼみが出来ていたり、発根しにくいことがあるので、そのような場合は、脇芽や頂芽は切り捨てる。
- 5、挿し穂は長さを揃えながら、切り口が滑らかになるようカッターで切り返す。切り口は、水平でもよい。
- 6、葉が多かったり大きいと蒸散量が多く、水の吸い上げとのバランスが崩れてしおれやすいので、葉を切り調整する。
- 7、未熟な先端部もしおれやすいので、切り落としておくと良い。すると、葉の付け根から新芽が2本伸びてくる。
- 8、挿し穂は、1時間ほど水揚げする。その際は、穂木を真っ直ぐに立て、なるべく葉は水につけないようにする。

*** 土に挿す**

- 1、5号のプラスチック鉢に半分ほど用土をいれ、タツプリ水を与える。鉢の縁があるため空中湿度の確保にもなる。
- 2、挿す深さが同じになるよう印を付けた誘導棒（割り箸）で穴を開け、挿し穂を差し入れる。用土が密着するよう指先で土を軽く押さえる。
- 3、挿す直前に粉状の発根促進剤を切り口につける。多量につけすぎると水の吸い上げを阻害するので注意する。
- 4、挿し穂の間隔は、葉と葉が触れ合うくらい。挿し終わったら、水をタツプリ与え、風が当たらない明るい日陰で管理する。

*** 挿し木後の管理**

挿し木直後は、風の当たらない明るい日陰で、乾かさないように管理。温度が明かりすぎなければ、挿し床全体をビニールで覆う、密閉ざしが有効。

発根を確かめようと、挿し穂を抜くとはしないこと。発根を確認したら、徐々に日に当て灌水を減らし、規定量の倍に希釈した液肥を適宜与える。

*** 1か月後**

適期に挿し木した殆どどの草本類は、1ヶ月もすると十分に発根する。発根してくると新芽が勢い良く伸び、挿し床や鉢底の穴から根が見えてくる。

*** 鉢上げ**

その時が鉢上げの適期。根を傷めないように、割り箸などを使いながら丁寧に挿し床から抜き、1本ずつ培養土で植えつける。

*** 鉢上げ後の管理**

鉢上げ後、タツプリ水を与え2～3日は、風が当たらない明るい日陰で管理する。その後は、その植物が好む場所へ移動し、通常の鉢花と同様な管理をする。根が鉢内に充満したら更に鉢増し・地植えする。

注：挿し木で殖やした苗は、自分の庭で楽しみましょう。

植物にも、“知的財産権”があります。新しい品種を作るためには、専門的な知識・技術が必要であるばかりでなく、長い時間と費用もかかっています。音楽やゲームソフトなどのように新品種を作り出した方の権利を守るために「品種登録」制度があり、その労力に報いるために、勝手に殖やして販売することが禁止されています。

『品種登録』されているもののラベルには、PVPや品種登録〇〇号と記載されている。

挿し木の種類：①葉ざし（全葉挿し・片葉挿し・葉芽ざし） ②枝（茎）挿し（芽挿し・緑枝挿し・半熟枝挿し・熟枝挿し・休眠枝挿し） ③根挿し（根伏せ）